

案件概要書

2012年11月20日

国際協力機構アフリカ部アフリカ第一課

1. 案件名（国名）

国名： 南スーダン共和国

案件名： マラカルタウン給水改善計画（the Project for Improvement of Water Supply System in Malakal City）

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における給水セクターの開発実績（現状）と課題

南スーダンでは内戦の影響で多くのインフラが維持管理されないまま老朽化しており、給水セクターにおいても、施設の改修や維持管理体制の強化は最大の課題となっている。南スーダンの3大都市の一つであるアッパーナイル州マラカルタウンは、（北）スーダンとの貿易の拠点であり、周辺に石油資源も存在することから、今後一層経済的重要性が高まることが見込まれている。一方、マラカルタウンにおける給水設備については、1937年及び1960年代に建設された砂ろ過施設及び2000年代に整備された膜処理施設（USAIDが導入）の合計3基の浄水場があるものの、特に砂ろ過施設の2基については老朽化による機能低下が著しく、処理量、水質、配水量等の面で大きな課題を抱えている。同タウンにおける現在の給水人口は約1.7万人であり、全人口（約15万人）の10%程度に留まっている。そのため、住民の多くがナイル川の原水利用を余儀なくされており、州政府は給水設備の改善及び給水能力の向上を政策の筆頭に掲げている。

(2) 当該国における給水セクターの開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

「南スーダン開発計画（2011～2013）」では、4つの政策目標の1つに「経済開発」が掲げられ、中でも給水分野は優先セクターの1つとされる。また、南スーダン都市水道公社（SSUWC）のマラカル支所は、2018年までに給水カバー率を65%まで引き上げる計画を有しており、本計画はその実現に貢献する。

(3) 給水セクターに対する我が国の援助方針

我が国の対南スーダン事業展開計画では、援助重点分野「基礎生活向上支援（BHN）」の支援策の1つとして、水・衛生プログラムを策定している。また、実施中の開発計画調査型技術協力「アッパーナイル州マラカルタウン社会経済インフラ総合開発及び緊急支援計画策定プロジェクト」では、給水セクターの計画策定に加え、ユニット型給水プラント等の設置を予定している。

(4) 他の援助機関の対応

マラカルタウンの給水セクターに関しては、これまで我が国とUSAIDが支援をしている。また、小規模な支援として、仏NGOのSolidarites Internationalが同タウン北部にユニット型給水プラントを設置した事例がある。

3. 事業概要

(1) 事業の目的

マラカルタウンの既存の浄水場改修、送配水管の改修・新規設置を通じて同タウン内の給水率が向上し、住民の衛生状態改善に寄与する。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

アッパーナイル州マラカル市マラカルタウン（マラカル市街中心部約24km²、人口15万人、

現状の給水人口は 1.7 万人) * 別添地図参照

(3) 事業概要

1) 土木工事、調達機器等の内容

浄水施設改修 (2 箇所・急速砂ろ過池)、高架水槽設置 (10 箇所)、送配水管新規敷設及び改修 (対象区間は調査にて確認)。但し、これは現時点での案であり、詳細は協力準備調査の結果を踏まえ確定する。

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

詳細設計、施工監理

3) 調達・施工方法

労務・資機材調達は必要に応じ第三国調達を行い、施工は最新の治安状況に対応し行う。ただし、労務調達については現地労働者の雇用に配慮する。

(4) 事業実施体制

事業実施機関：主管官庁は南スーダン水資源省 (MWRI)、実施機関は、南スーダン都市水道公社 (SSUWC)。

(5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類：B

② カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」(2010 年 4 月公布) に掲げる上水道セクターのうち大規模なものに該当せず、環境への望ましくない影響は重大でないと判断され、かつ、同ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすい特性及び影響を受けやすい地域に該当しないため。

2) 貧困削減促進等：女性や子供の水汲み運搬にかかる労働が軽減され、女性の社会進出や子供の学習時間増加が期待される。

(6) 他スキーム、他ドナー等との連携：実施中の開発計画調査型技術協力 (「アッパーナイル州マラカルタウン社会経済インフラ総合開発及び緊急支援計画策定プロジェクト」) にて実施予定の給水セクターパイロットプロジェクトから得られる知見を本計画に反映する。

(7) その他特記事項：現時点ではマラカルタウンにおける治安上の問題は無く、国連のセキュリティーレベルも 3 (moderate) と評価されている。また、既に国際機関をはじめ、USAID など他ドナー及び NGO が同市内もしくはその周辺域において支援活動を行っている。

4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

- ・ 南スーダンの給水セクターにおける類似案件では、先方政府による計画予定地の保持が不十分であったため、調査・設計中に計画地が不法入居者により占有され、計画地の一部変更を余儀なくされたことにより、本件実施の遅延が生じた事例がある。
- ・ モンゴル国「ウランバートル市給水施設改善計画」の事後評価によれば、施設整備にあわせて維持管理を担当する技術者の育成が十分されない場合に、施設の故障やスペアパーツの在庫不足等の問題が生じ、裨益効果が限定されうる点が指摘されている。

(2) 本事業への教訓

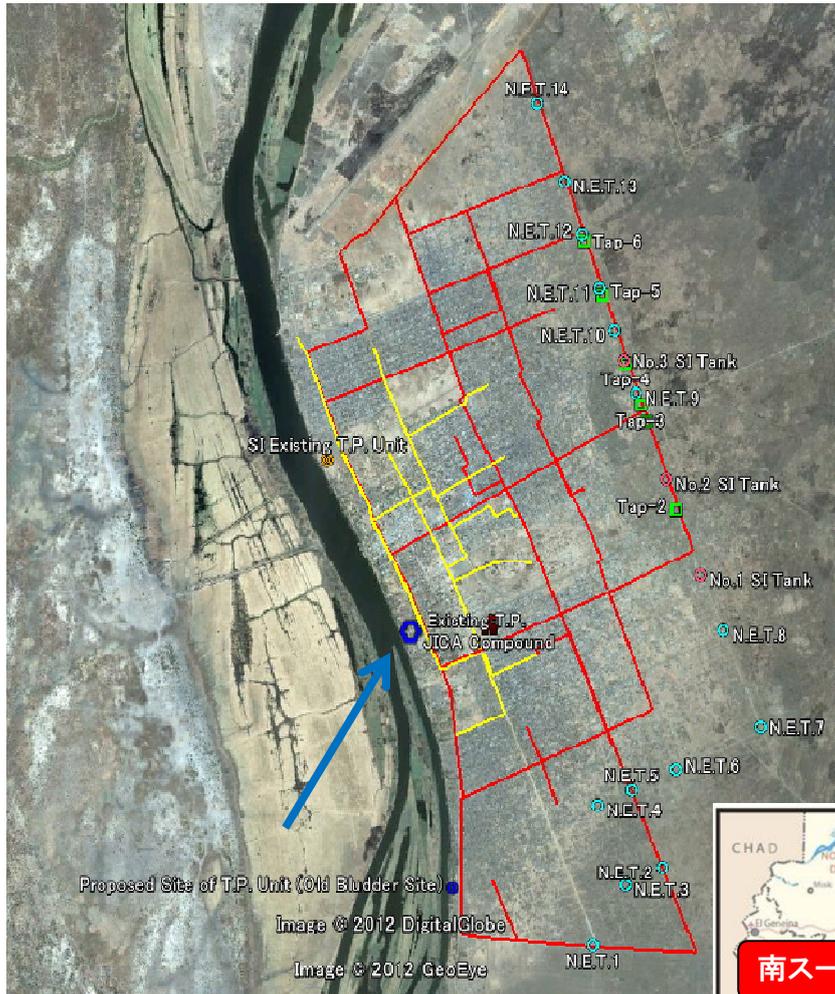
- ・ 本案件では、先方政府による用地確保の手続き及びその保持につき、適時・適切に対応がなされているかモニタリングを行うとともに適切な助言を行い、計画予定地保持のために先方政府負担によりフェンスの設置を行うなど必要な措置をとる。
- ・ また、本案件では、先行する開発計画調査型技術協力において、先方実施機関である南スーダン都市水道公社マラカル支所の職員に対する能力向上支援を行っており、本支援を通じて

新たに整備される施設の維持管理及びこれらを用いた運営にかかる技術移転を行うことにより、整備後の適切な運営及び施設維持管理を確保する。

以 上

〔別添資料〕 地図

マラカルタウン給水改善計画



— : 2009年に交換された配水管

— : 本計画にて新規敷設及び交換を行う配水管

(加えて、マラカルタウン周縁部の新規居住地も、配水管新規敷設対象とする予定 (詳細は調査にて確認))

本計画にて設置する高架水槽 (10箇所) の位置は調査にて確認。